

1 皆で話し合おう！ 「助け合いの仕組みづくり」

区役所や消防署などの協力を得て地域で「助け合いの仕組みづくり」の講習会や説明会を開きましょう。

地域の学区連絡協議会、防災安心まちづくり委員会などで「助け合いの仕組みづくり」への取り組みを話し合しましょう。



- 取り組みの範囲(学区、町内会)
- 名簿の使用範囲
- 名簿の管理

話し合ったら取り組みの規約をつくりましょう。

2 皆で協力！ 支援を必要としている人の把握

地震や台風などの災害が発生したとき、地域における支援が必要な方を把握しましょう。

- 一人暮らしの高齢者
- 一人で避難できない障害者
- 災害情報の収集が困難な人

情報を集める場合は、フライバシーの保護に十分注意しましょう。



3 皆でつくろう！ 個別支援計画

支援を必要としている人に、誰が支援するかを地域の皆で話し合い、計画を作成しましょう。



- とない近所の人の支援
- 組や町内会などでの支援
- 自主防災組織などによる支援

支援には、色々あります。地域でできる支援をしましょう。

- 安否確認
- 救出・救護
- 避難誘導

個人情報には、十分に注意し、つくった個別支援計画は、なくしたい、内容をもらしたくないよう、しっかりと保管しましょう。

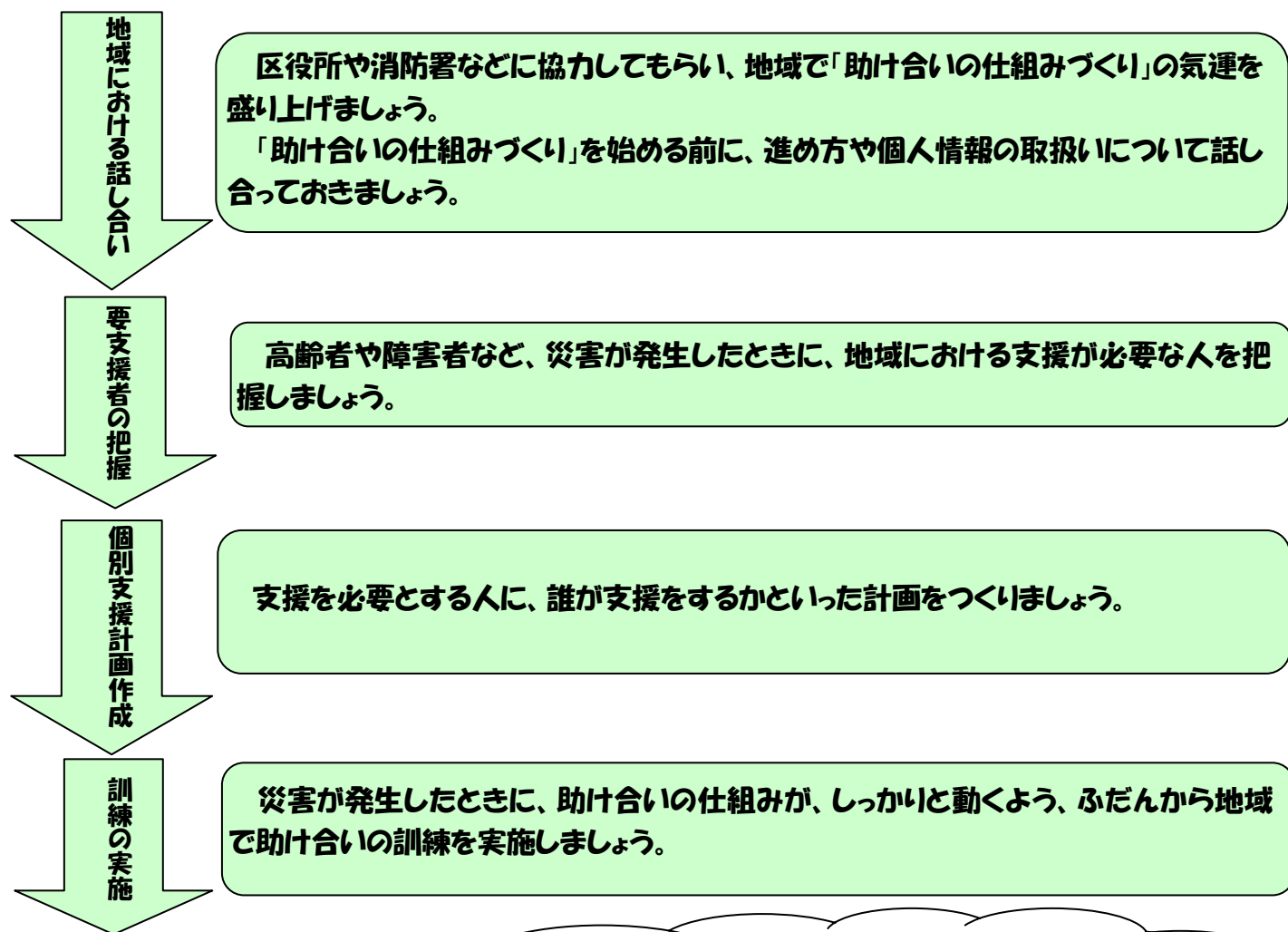
4 皆で訓練！ 「助け合いの仕組み」

「助け合いの仕組み」がうまく機能するよう常に訓練をしましょう。自主防災組織の訓練、防災訓練などをおして、日ごろから備えておきましょう。

訓練を実施するにあたっては区役所や消防署などに相談しましょう。



「助け合いの仕組みづくり」の概要



集めた情報や個別支援計画などの、個人情報
は、なくしたり、内容をもらいたくないよ
うに、しっかりと保管、管理しましょう！



助け合いの仕組みづくり

皆で力を合わせましょう！



おおきな災害がおこったとき、安否の確認や救出、避難の誘導をすこしでも早くできるように、まえもって備えておきましょう。
高齢者、障害者など、災害のときに地域の支援が必要な方々について「どこに住んでいるか」「どのように安否を確認するか」「どのように救出するか」「どのように避難誘導するか」をまえもって地域で話し合い、助け合いの仕組みをつくっておきましょう。

名古屋市

問合せ 名古屋市消防局防災部防災室
〒460-8508
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
☎ 972-3523 FAX962-4030

このパンフレットは、再生紙（古紙配合率100%
白色度80%）を使用しています。